

自由な発想で自分の海の色をつくろう

千葉県市川市立福栄小学校で読書感想画の研究授業



のびのびと海の色を塗っていく

10月11日、千葉県教育研究会市川支会学校図書館教育部会の研究会「本の世界を表現しよう～読書感想画の描き方とポイント～」が、千葉県市川市立福栄小学校(松永裕思校長)で行われた。講師は、植草学園大学教授・森高光広先生。

同校は、昨年度より「海洋教育パイオニアスクールプログラム」の指定を受け、「海」をテーマにさまざまな行事や教科の中で取り組んでいる。

1年生は、「海」のテーマで造形遊びと読書感想画を関連させて取り組んできた。読書感想画についてはこれまで、『貝の子ブチキ

子どもたちは、アルミホイルをパレット代わりに使い、いろいろな色を使って、自分の海の色を工夫して作っていった。

筆だけでなく、スポンジに絵の具を付け、たいたいたりこすったりしながら、自由な表現を楽しんだ。

森高先生は、「おもしろい塗り方だね」「波の感じが出ているね」と、声をかけていった。

次の時間から、これまでのトレ

ー(福音館書店)の読み聞かせを聴き、海の生き物を描くなど、イメージを膨らませてきており、本時は「自分の想像した海の世界を工夫して表現する」が目標。

ニングをもとに、本番の大きな用紙に絵を描いていく。

研修会で学び合う

授業見学の後は、読書感想画の研修会がもたれた。最初に、1年生の担任の岡本かつよ先生から、本時に至るまでの指導の経緯が紹介された。その後グループに分かれて、特に低学年の「読書感想画に適した選書」について、意見を出し合った。

最後に森高先生が、「絵の主役を意識して、大きさや位置などを考え、子どもが工夫することが大切」など、指導のポイントを述べた。



いろいろな表現方法を知る

たのしさいっぱい! 教育画劇のあたらしい絵本 いつもいっしょ!

はたらくおやさい バナナもいるよ!

わだことみ・作/おおいじゅんこ・絵
26P/183×235mm/定価:本体1,000円+税



ここは野菜たちの工事現場。じまんの乗り物でお料理するよ。みんなで力を合わせてお子さまランチを作ろう! 乗り物と食べ物両方を楽しめるユーモラスな絵本。

れいぞうこのおくのおく

うえだしげこ・作/絵
36P/190×240mm/定価:本体1,100円+税



冷蔵庫の奥に忘れてしまったチーズ。カビが生えたチーズゾンビになっちゃう前に、おいしく食べてもらいたいんだ! チーズは冷蔵庫の最前列に踊り出ようとして……。